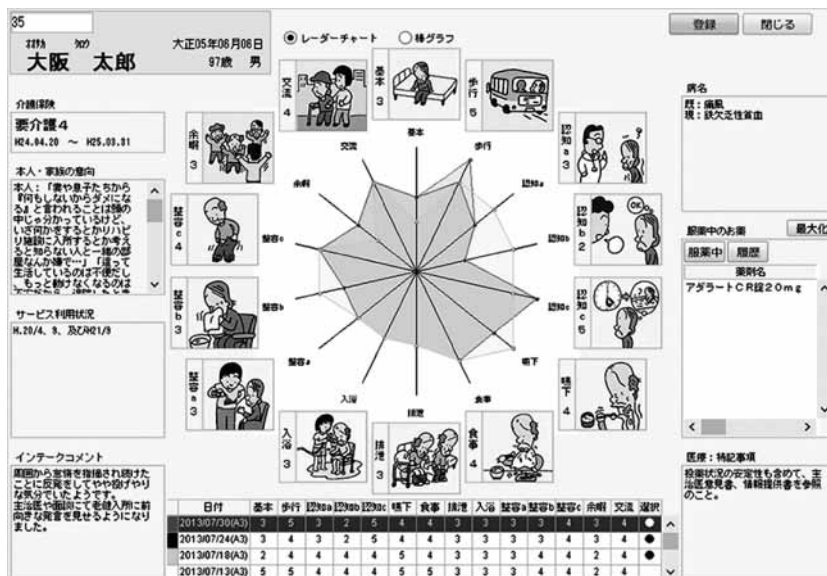




「群馬県地域医療再生基金事業 報告」

会長 折茂 賢一郎

本事業の方向性などに触れたいと思います。一番の目玉は…利用者・家族に状態像を評価してもらう仕組みづくり…です。一般にアセスメントというと、介護支援専門員などの専門職が行うことになっています。しかし、今回の事業では、全国老人保健施設協会が開発した“R4システム”の中の“ICF Staging”という評価指標を採用することによって、ご家族だけでなく利用者ご本人自らが状態像のチェックを行えるのではないかと…という仮説の元に計画をしています。人の状態像を15の軸に分け、それを客観値として5段階に評価するものなのですが、名前の由来通りWHOが提唱している“ICF”のコード化を利用しているものです。統計学的にその優位性は証明され、英語論文や日本老年医学会雑誌にも載っているものです。その最大の特徴は、簡単かつ明瞭に判断できるように“イラスト”を採用しているところです。ご興味のある方は、年明けの特別講座において本事業の中間報告を行いますので、是非ともご参加いただければと思います。一見、取りつきにくいと感じることもあるかもしれませんが、ICTを用いればいとも簡単です。現在、作業部会を通じてその検証に取り掛かったところです。来年度の事業終了後も本事業が継続できるような方策も見通しながらの作業になります。どうぞ、ご興味を持っていただき、本事業の進捗を楽しみにしていただければと思います。作業部会からの報告が2面に載っていますので詳細はそちらをご参照ください。



「群馬県地域医療再生基金事業 作業部会報告」

理事 安藤 繁

折茂会長が記されたとおり、その事業遂行のために「作業部会」を設置しました。重複した記載になってしまうと思いますが、この事業や作業部会についてはインターネットの検索に「<http://www.gunma-icf.net/>」と打ち込めばホームページに接続でき、その内容が分かります。「群馬県介護支援専門員協会 地域在宅医療介護看護連携事業」と打ち込んでヒットするはずです。

現場レベルで事業を推進していく役割を担っているのが作業部会で、下の表のような構成メンバーになっており、原則、毎月開催して学びを深め試験運用に備えています。

1	一般社団法人群馬県介護支援専門員協会	折茂 賢一郎	—
2	医療法人十薬会 介護老人保健施設 若宮苑	安藤 繁	高崎市
3	社会福祉法人希望館	松沢 斉	高崎市
4	社会福祉法人希望館	石井 純子	高崎市
5	社会福祉法人希望館	深津 孝宏	高崎市
6	認定NPO法人じゃんけんぽん	須田 和也	高崎市
7	居宅介護支援事業所 元助（げんすけ）	小沼 説雄	みどり市
8	ケアマネジメントセンターおおいど	竹田 靖子	伊勢崎市

部会員に求められることは、まずは大前提としてICF Stagingの知識です。そのための勉強会もしましたし、ICF Stagingは進化の過程にありますので継続的な勉強も続けています。本来ならばICF Staging自体についての説明をしなければならないのですが、かなりの文字数や図表が必要になりますので、とても広報紙や小冊子程度ではスペースが足りませんので記載の省略についてご了承願います。

さて、部会員に欠かせないアイテムが専用のソフトウェアを入れたパソコンの類です。もちろん通信機能も必須です。これらはシステム構築のために別事業として同じ基金から補助金を得ました。それを元手にノートパソコン、iPad mini、ポケットWifiのレンタルを受けています。スマホをサクサク操作できる部会員には便利なアイテムなのでしょうけれど、ガラ携しか使えないうえに老眼の私を含めた数人にはiPad miniは“猫に小判”かも知れません…でも、部会員一同、目標に向けて頑張り続けて参ります。

各支部の紹介

○利根沼田支部（利根沼田介護支援専門員協議会）

支部長：岡島 真実（内田居宅介護支援事業所）

連絡先：0278-23-7535

（内田居宅介護支援事業所 岡島 真実）

長年地域を支えていただいた諸先輩が引退され、支部体制も大幅に変更となった今年度は「改革の年」になります。新規会員の獲得や今後の制度改正に備え、サ高住との交流会や地域包括ケア学習会など気になる旬のネタを学びつつ、「地域包括ケア」に向け法人や職種を超えて連携ができるようなシステムや関係を作り上げるため、ケアマネも一緒になり諸団体と地域ぐるみで活動が始まりました。今後も介護保険の要となるため頑張りたいと思います。

○高崎安中支部（高崎安中支部）

支部長：中西 有美子（パナケア真中（株）高崎居宅支援事業所）

連絡先：027-384-3211

（パナケア真中（株）高崎居宅支援事業所 中西 有美子）

高崎・安中支部の会員数は、約260名おります。今年度の支部研修は、年に4回の計画を立て、行政の方から制度についての研修、地元の医師会と協力しての合同研修、ケアマネとしての技術を身につける研修などを行っています。またより身近な情報を共有するようにと、高崎・安中地区を3ブロックに分けての地区別研修も行っています。それぞれの研修担当の役員が、会員の皆様の要望に答えながら研修内容を企画しています。

○吾妻支部（ケアマネ吾妻の会）

支部長：田村 広行（特別養護老人ホームいわびつ荘）

連絡先：0279-68-4840

（特別養護老人ホームいわびつ荘 田村 広行）

10月25日（土）と11月29日（土）の2回、西毛病院の大石先生を講師に迎え「支援をするための聞くということ」をテーマに研修を開催します。この研修は2回参加することによってステップアップを模索する内容で、今回は会員のみでなく吾妻郡内の各団体にも声をかけて連携をはかりたいと考えています。

また、年度末には恒例の宿泊研修も計画中です。温泉で研修もしながら、ゆっくり交流を深め、参加された方が日常のストレスから少しでも解放できればと考えています。

○前橋支部（手をつなごうケアマネの会）

支部長：野中 和英（ケアプランセンター老研）

連絡先：027-253-3398（ケアプランセンター老研 野中 和英）

前橋支部では6月27日に支部総会を開催し、基調講演で当会理事の松本勝美様に住宅改修・福祉用具選定のポイントについてのご講演をいただきました。今年度も研修会を企画しており、年度末には来年4月に行われる介護保険制度の改正についての研修会を予定しております。これから会員の皆様のスキルアップにつながる研修会などを企画していきますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

○桐生支部（ケアマネわたらせの会）

支部長：小沼 説雄（居宅介護支援 元助）

連絡先：0277-70-1556（居宅介護支援 元助 小沼 説雄）

当支部では概ね年3回程度の研修会を中心に活動しております。実績としては6月に「地域包括ケアシステム」に関するミニシンポジウムを桐生・みどり両市の担当者並びに安藤・須田両理事をお招きし開催。又、去る10月24日には第5回医師・ケアマネ合同研修会を開催致しました。さらに、12月6日には「桐生見える事例検討会」と桐生・みどり、太田、館林の3支部との合同で「多職種連携と事例検討 見える事例検討会とその効果」と題して研修会を実施予定です。詳細は後日該当支部会員にはご案内申し上げます。

○伊勢崎支部（伊勢崎佐波ケアマネジャーの会）

支部長：岡田 稔（東京福祉大学）

連絡先：0270-40-4209（東京福祉大学 岡田 稔）

伊勢崎佐波支部の26年度の活動を紹介いたします。昨年度に引き続き、医療との連携、行政との連携、広報活動、会員への支援を柱に活動を進めていきます。26年度は、特に27年度からの介護保険制度改定の重要課題である地域包括ケアシステムの構築に向けて、本会として行政との連携をふまえての活動を行っていく予定です。特に地域づくりを意識した地域ケアのネットワークづくりを、役員を中心に活動していきたいと考えています。また、医療と介護の連携を具体的に行うための活動を行ってきたいと考えています。

○太田支部（太田圏域支部）

支部長：浅沼 郁子

連絡先：0276-32-1212（介護老人保健施設ふじあく光荘 高田 勢子）

支部総会では介護サービス課長による行政説明会が行われ、多数の会員と来賓の方々とが一堂に集いました。今年も共同募金会から事業配分金を頂き、ケアマネジャーの基を築くための勉強会「コーチング・レッスン」を、プロコーチを招いて4回連続で開催します。

また年明けには、公開講座として 在宅緩和ケア診療所いっぼの萬田緑平先生による講演会「家に帰ろう」を開催します。皆さま、是非ご参加ください！

また、来年のフォーラムは東毛開催となり、大会長には太田支部副支部長の高田勢子さんが就任しました。一年がかりで準備して参りますので楽しみにして下さい。

太田支部は資質向上、多職種連携、情報共有、そして地域貢献を目指しています。

○富岡甘楽支部（富岡・甘楽支部）

支部長：鳥淵 充俊（介護老人保健施設ココン）

連絡先：0274-62-1511（富岡市地域包括支援センター 中曽根 英子）

総会及び第1回研修会を6月7日（土）に開催、弁護士法人龍馬の星野啓次先生、板橋俊幸先生を講師にお迎えし「成年後見人の役割」、「ケアマネジャーと弁護士の連携」について講義を頂きました。第2回研修会は、8月8日（金）に行政、医師会、歯科医師会、広域リハ支援センターの方々等をゲストにお迎えし情報交換会を開催しました。在宅医療推進や医療・介護のネットワーク構築等の為の様々な研修会が各地で開催されています。地域内の円滑な情報共有が図れる様、支部として出来る事に取り組んでいきたいと考えております。会員の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

○多野藤岡支部（多野藤岡支部）

支部長：成瀬 文雄（藤岡市介護老人保健施設 鬼石）

連絡先：0274-22-1211（藤岡市地域包括支援センター 黒柳 好）

今年度の活動としては、地域包括ケアシステムの構築を進めていく中で、中心的な役割を担うとされる介護支援専門員の「資質向上」とシステムの中で重要になってくる「多職種協働」に着眼し、藤岡多野医師会、認知症疾患医療センター、地域ケア会議と合同研修会を行う計画となっています。第1回研修会は癌末期、看取り事例を参考に、医師と介護支援専門員がいかに関係していかの議論を深めることになっています。

○邑楽館林支部（邑楽館林支部）

支部長：柏崎 崇（板倉町社会福祉協議会）

連絡先：0276-75-3711（ナーシングホーム館林 保知戸 剛）

邑楽・館林支部では、平成26年度 支部役員の顔ぶれ及び支部構成が大幅に変更となりました。まず、平成14年の支部立上げから現在まで、支部を牽引して頂いた高橋支部長が12年間の支部長の大役を退き理事とされました。大変お疲れ様でした。

また、今年度より市町の役員を1名から2名に増員し、役員数を大幅に増強いたしました。邑楽・館林支部では、出来る限り支部会員の皆様に情報提供を行い、新たな制度や介護支援専門員実務者のみならず、介護保険に関係する皆様に、より良い環境の提供を心がけていきたいと考えております。今後ともご協力よろしくようお願い申し上げます。

○渋川支部（渋川圏域支部）

支部長：村上 忠明（特別養護老人ホーム 清流の郷）

連絡先：0279-56-9201（特別養護老人ホーム清流の郷 村上 忠明）

地域包括ケアシステム構築に向け、様々な切り口からアプローチがされています。

渋川では、医師会が中心となり『在宅ケアネット渋川』の幹事会を活用し、ネットワークの拡大を図り、勉強会として『講演会』等を多数企画しております。各事業所等案内が活きますので、多くの参加をお待ちしています。

救急搬送時の日常の医療情報や生活情報を消防や病院から求められています。各関係機関と協議して、様式を作成したいと思っています。

「理事会・各委員会の報告」

理事会

会長 折茂 賢一郎

7月23日（水）、8月28日（木）、9月19日（金）の理事会報告を致します。いつも19時からの理事会に県内各地から理事や監事の方々に集まっていただき、議論をしています。伊香保でのフォーラムの結果報告、来年度のフォーラムの件、地域医療再生基金事業の進捗状況、さらに赤い羽根募金の来年度の応募についてなどは、予算にも関係してくる重要案件です。またその都度、県の介護高齢課などから県内のケアマネジメントに関する様々な依頼などがあり、協議をしています。いつも終了は20時過ぎになり、遠方の役員さんたちはおそらく帰宅が22時前後になってしまうこと、申し訳なく思っていますが、会員各位のためより良い組織になるべくみんなで力を合わせて頑張っているのです。

総務財政委員会

総務財政委員長 松沢 斉

上半期が終わり、ひとまず各支部の所属会員数を確定させ、請求にあわせて支部活動費の交付が進んでいるところです。まだ請求をされていない支部はお早めをお願いします。

これは総務財政委員会にのみ関わることはありませんが、長らく事務局として本会にご尽力いただいた伊藤数子さんが10月10日付で退職されることになりました。多くの会員に愛された貴重なキャラクターが去ることは寂しい限りですが、伊藤さんの退職を機にケアマネ協会は弱体化したなどと言われぬよう、全会員が力を合わせて会を盛り上げていきましょうね。後任には過去にも県社協での勤務経験のある、新井美子さんが就任致しました。会員の皆様、前任の伊藤さん同様お引き立ての程宜しくお願い致します。

学術研修委員会

学術研修委員長 安藤 繁

7月の「ケアマネジメント群馬フォーラムⅪ in伊香保」の後、8月から9月にかけて4回シリーズの「ケアマネ受験対策講座」を実施し、142名の方々が受講されました。熱心に学ばれた受講者の方々の合格を心より祈っています。きっと、受講者の中から多くの会員が誕生することでしょう。

広報情報委員会

広報情報委員長 藤田 東洋子

7月4日（金）第3回広報情報委員会を開催し、87号について検討しました。フォーラム特集とさせて頂き、委員全員で原稿依頼や写真撮影など行いました。すでに皆様のお手元へ届いていることと思います。研修に、出席できなかった方へは分かり易く記載する様心がけました。9月12日（金）は88号の検討を行い、県協会として実施中である群馬県地域医療再生基金事業について、概要・進捗状況を皆様にお伝えすることになりました。県協会の法人化に伴い、新たな活動もできるようになりました。皆様のお役に立てるよう頑張っております。

多野・藤岡支部

10月3日（金）藤岡市役所中庁舎にて、第2回支部研修会（事例検討会）が藤岡市地域ケア会議との共催で開催されました。今回の事例は訪問看護ステーションあさひ看護師の朝倉富子氏、くすの木病院ケアマネジャー本多利己氏のご協力により「癌末期、独居患者の思いに寄り添って」という内容でした。

改めて、人の死生観とどう向き合い、残された時間をどう支えるべきかを深く考えることができ、今後の支援に活かせるような意見も多く交わされるなどとても貴重な時間となりました。



（特別養護老人ホームつどい 関口 将史）

利根沼田支部



9月30日（火）、有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅についての研修がありました。初めに沼田市地域包括支援センターの真下幸枝氏から有料老人ホームとサ高住の比較や以前の制度からサ高住に変わった経緯などについての説明があり、利根沼田の事業所から施設の紹介、出席者からの質問と続きました。事業所ごとの特色がよくわかり、利用者様に紹介する際の参考になりました。仕事後にも関わらず60名を越す熱心な参加者に励まされた研修でした。

（居宅介護支援事業所ゆずりは 並木 みぎわ）

高崎安中支部

9月20日（土）に高崎総合福祉センターにて、旧高崎・新町・吉井地区第2回の研修会が開催されました。

研修会においては「地域包括ケアシステムの構築に向けて」のテーマのもと、高崎市福祉部長寿社会課田村課長よりご講演をいただきました。

講演においては、第6期介護保険事業計画および高齢者福祉計画の施策について検討している内容も盛り込まれ、講演内容に沿ったアンケートに答える事で、今回参加した一部の介護支援専門員の声ではありますが、計画に反映させたいと言っていたきより良い支援計画になるよう期待したいと思いました。

今後大改革が予想される介護保険制度について、研修などで学びを深め多職種の連携する重要性をより一層感じる研修でした。

（有限会社 牧野ケアサービス 須藤 いずみ）



お詫びと訂正

ケアマネ群馬 会報 87 号 6 面、セッション③事例検討会「見える事例検討会」報告に 2 か所、誤表記がありました。関係各位にご迷惑をおかけしましたこととお詫びさせていただくとともに下記のように訂正させていただきます。

- ・【誤】 平林久幸氏 (わたらせリバーサードクリニック)
- 【正】 平林久幸氏 (わたらせリバーサイドクリニック)
- ・【誤】 青梨訪問看護ステーション 関根京子
- 【正】 青梨子訪問看護ステーション 関根京子

事務局からのお願いとお知らせ

会員の方への会報送付について

会員の皆さまには会費納入のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて本会では会員の皆様に会報や研修会のご案内をお送りしております。
このご案内につきまして、次号より平成 26 年度会費を納入された方のみに限定させていただきます。尚、以後より会費納入の確認ができ次第お送りする予定です。

会費納入について

平成 26 年度会費について、まだお振込がお済みでない方は、下記口座にお振り込み下さい。
本会は会員の皆様の会費で運営しております。
より良い会を目指して理事・支部長・委員会委員等頑張っております。是非ご協力の程をよろしくお願いいたします。

会費振込先

取扱銀行 ゆうちょ銀行

口座名 一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会

口座番号 00540-0-63399

*** 他金融機関からの振込用口座番号 ***

〇五九(ゼロゴキウ)店 (059) 当座 0063399

- 金額
- 1、一般社団法人群馬県介護支援専門員協会会費 4,000円
 - 2、日本介護支援専門員協会 & 群馬県介護支援専門員協会会費 9,000円
 - 3、賛助会員 1口 5,000円を 2口以上でお願いいたします。
*いずれも継続会員様の年会費金額です。
新規入会をご希望の方は本会事務局にお問い合わせください。

問い合わせ先

一社)群馬県介護支援専門員協会事務局 (群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 内)

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6444

事務担当 新井

*長い間お世話になりました

私事で大変恐縮ですが、10月10日を持ってケアマネ協会事務局を退職することになりました。会員の皆様並びに協会役員の皆様、支部長の皆様、そして委員会委員の皆様への感謝！感謝！感謝の気持ちを誌面をお借りしてお伝えしたいと思います。14年間という長い間、暖かく迎えて下さって本当にありがとうございました。

後任は新井美子と申します。これまで同様、どうぞよろしくお願いいたします。(伊藤)

編集 後記

10月26日に群馬県介護支援専門員実務研修受講試験が行われました。試験の合格率は年々下がり、狭き門となっていますが、ケアマネを目指す方々の応援をしていきたいです。(の)